

一年学年だより

No. 9

1月号

令和8年1月8日

108HR

～登山～

中央高校に入学して、もうすぐ9か月。中学時代までの自分と比べて何か変化はありましたか？

私は中央高校に赴任して3年が経とうとしています。一番の変化は登山部の副顧問になって、登山を始めたことです。高校生との体力差を痛感させられてばかりですが、石鎚山、剣山や大山などいろいろな山に登ることができています。

私は、登山を始めたことで世界が広がったと感じています。中でも、「様々な年齢の人たちが自分の時間を大切に使って余暇を楽しんでいる」という事実には衝撃を受けました。大事なことだと頭ではわかっていたはずですが、本当には理解できていなかったのだと思います。反省もあって、今では部活動以外でも山を楽しんでいます。交友関係の広くない私ですが、山を共に楽しむ山友もでき、なかなか会えずにいた高校時代の友人ともハイキングをしたりしています。家、職場以外にもう一つ居場所ができたように感じます。

こう書いてくると、「そうか自分の時間を好きなことに使えばいいのだな」と考える人もいるかもしれませんが、それは捉え違いというものです。みなさんが目をそらしてはいけないのは、進路を決定する重要な地点にいるということ。これからそれぞれの進路を決めて進んでいく過程で迷うこともたくさん出てくると思います。そんなときはぜひ、行動を起こしてみてください。小さなことでいいと思います。心が動いたり、発見があったり、何かにつながると思います。

(108HR担任)

～継続は力なり～

みなさんは、習い事をしたことはありますか？ 小さい頃していた人は多いかもしれません。その習い事を今も続けていますか？

私は小学生の頃「お絵描き」と「習字」を習っていました。「お絵描き」は家の近くの公民館でやっていた。幼稚園の時から習っていましたが、小学2年までという年限があったので辞めましたが、「習字」は小学3年生から昨年まで45年以上にわたって同じ先生に習っていました。

きっかけは最初は半紙に墨汁で書く平仮名や漢字です。何枚か書いていいと思うのができたら前に座っている先生のところへ持っていき朱墨で添削してもらいます。〇をいただくとうれしかったです。高校卒業後は、条幅や全紙(70cm×140cm)と各作品が大きくなりました。じゃあ、長く続けているのであれば何でも書けるのかというところではなく、私が書いてきたのは「少字数漢字」で「ペン習字」や「かな」はやっていません。また、仕事で忙しい時は練習があまりできなかった時期もあります。それでも「少字数漢字」作品を展覧会に出品して賞をいただくこともありました。それは習い事を続けているから体験できたことです。

昨年、先生がお亡くなりになったので習いに行くことがなくなったのですが、今でも年に何回かグループで集まって、互いの作品を批評したりしています。

基本的には、損得ではなく自分の興味のあることを続けた結果なのですが、今みなさんがしている部活動のように毎日「習字」をしていたわけではありません。筆を持たない日が続くこともあります。一人で制作しますから、その日練習を休んだからといって怒られることはありません。いつ辞めるかも自由です。

「芸は身を助く」という言葉があります。これまで他の人が分からない漢字の読み方が分かったり、芳名録など筆を持つ機会があっても、あまり緊張せず書けたりします。

継続して何かをすると……何かいいことがあるかもしれませんよ。

(108HR副担任)

